



一 般 質 問 …… P 2～3
9月定例会

町 議 会 審 議 結 果 …… P 4～8
7月3・29日臨時会、9月定例会

傍聴アンケートの結果 …… P 8

令和元年度決算審査 …… P 9

委員会等の動き …… P10～11

ま ち の こ え …… P12

表紙のコメント …… P12

発行/上川町議会 編集/議会広報特別委員会



カミカワオンラインフェス'20で町の魅力などを発信したメンバーたち
(9月6日 上川町コワーキング施設)

一般質問

令和2年第7回町議会（定例3）の一般質問は、9月16日に行い、籠味議員が町長の考え方を問いました。

（記事の内容は要点を掲載しております。）



（籠味議員）

新型コロナウイルスの影響により、自宅で仕事をするテレワークが一挙に進んだ。
また、地方への移住、地方においてオンラインで仕事をするという関心が高まっている状況にある。現在、都会などで仕事をしている人たちなどにそういったニーズの把握や環境整備、PRを行い、

都会などで仕事をしている人々への環境整備、PRを

新型コロナウイルスの影響による移住取り組みは

籠味正樹 議員

体験移住などを行っていく考えはあるのか、町長の考えをお聞きしたい。

町長答弁

魅力を感じる事業を策定し、自主財源の確保に努めたい

本町では、移住・定住における様々な課題解決を図り、計画的かつ総合的な施策を展開するため、平成30年3月に「上川町移住・定住促進計画」を策定してきた。

移住者を受け入れる環境整備としては、昨年4月にシェアハウス併用型ワーキング施設を建設し、起業を目指す方やトライアル移住者のワーキングスペースとして整備するとともに、本年7月には旧家畜診療所を改修し、生活が手軽に体験できるよう家電や生活備品を備えた移住体験住宅の利用を開始してきた。新型コロナウイルス感染症が全国的に蔓延し、地方での暮らしや働き方が見直される中、都市部の移住希望者に本町への関心を持ってもらい移住を促すため、オンラインでのイベント開催や移



（佐藤町長）

住相談会へ出展、生活体験モニターツアーの実施のほか、ホームページや移住専門誌など各種広告媒体で広くPRを行ってきた。また、新しい旅行や働き方として、「ワーク」と「バケーション」を組み合わせた「ワーケーション」が注目されているが、移住と観光の新たな切り口として昨年11月に全国組織のワーケーション自治体協議会に加盟した。

新型コロナウイルス感染症の影響で、層雲峡温泉における宿泊者が激減する中、温泉地での余暇を楽しみつつ仕事をテレワークで継続できるワーケーションについて、全国市町村と連携し、都市部の企業等の誘致など、新たな移住や誘客対策の一つとして取組んでいきたい。

再質問

シェアハウス併用型施設コワーキング施設と旧家畜診療所の利用状況、PRへの反応は怎么样了のか。

答弁

トライアル移住に関しては、思った以上に反応がある。旧家畜診療所は、現在一組の利用であるが、町を体験するには、非常に有効な施設だと思う。出来てから間もないので今後も、PRは必要だと思っっている。



旧家畜診療所を改修した移住体験住宅

再質問

旧家畜診療所については、生活体験となっていて、電化製品、家具はあるが、仕事用デスクやプリンターなどを装備して、ビジネス用途でも使えるようにする考えはないか。

答弁

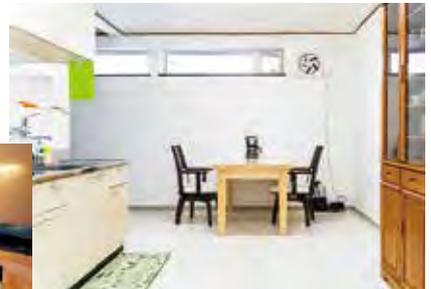
今回のコロナの問題において、今後、何が必要なのか、働き方がどうあるべきなのか、見直しができる機会だと思っっている。不十分さについては、今後検討していく。

再質問

ホームページの移住体験住宅募集の掲載を受け取る側に今よりも優しく伝わる内容に変更してはどうか。町が目指す「おもてなしのまち」にふさわしい形にしてはどうか。

答弁

指摘は、その通りだと思う。行政文書も含め、常に検証し、見直



← コワーキング施設の室内

移住体験住宅の室内 →



していききたい。

再質問

ワーケーションと移住をどのように結び付けてゆく考えなのか。

答弁

自然や景観を求めてワーケーションの人は動いてくるから、そこを有効にPRしていきたい。今

後のワーケーションの広がりに合わせて、まちづくりを展開していきたい。

再質問

地方でもオンラインで仕事をし、生活できるのだと、考える機会を作ったりすることが大事。冬の対策などを考えると、まずはUターンをターゲットにして進めていくことは、どうか。

答弁

まだまだ、開発すべき、整理すべき問題点があると考えている。たとえば、農村地域での光ファイバーなど、通信環境の整備を進めるなど、オンラインの有効利用、働き方、暮らし方を結びつけていきたい。

東京の企業へ派遣している町職員もいるので、人との結びつきを広げていきたい。また、「地域おこし協力隊」、地元の若い人たちががんばろうと気運が高まっているので、外から関心をもってもらう、魅了が通じるまちづくりを進めていきたい。

議

案

審

議

結

果



審議に係る採択結果については、全て原案のとおり可決・承認等されており、「全員賛成」になっております。

7月臨時会（臨時3）

7月3日に開会。条例の一部改正1件、財産の取得2件、令和2年度一般会計ほか全3会計の補正予算計3件を審議し、同日閉会。

可決議案等

■条例の制定

◎上川町手数料条例の一部を改正する条例について

- ・個人番号カード等省令の改正により、個人番号（マイナンバー）の通知カードの新規発行や記載事項の変更手続等が廃止されたことに伴い、通知カードの再交付手数料を削除するものです。

■財産の取得

◎財産（水槽付消防ポンプ自動車）の取得について

- ・平成7年の取得後25年が経過した水槽付消防ポンプ自動車の更新で、契約金額9,790万円、(株)北海道モリタを相手方とする契約です。

◎財産（高規格救急自動車）の取得について

- ・平成22年に取得後9年が経過した高規格救急車を、高度医療機器の耐用年数の経過及び走行距離数が120,000kmを超えたことによる更新で、契約金額3,751万円、(株)北海道モリタを相手方とする契約です。

■補正予算

◎令和2年度一般会計補正予算（第4号）

- ・歳入歳出それぞれに1億9,843万6千円を追加し、予算総額を63億3,626万1千円とするものです。補正予算の内容は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた事業者や町民に対する支援事業のほか、社会保障・税番号制度に伴うシステム改修業務委託料（704万7千円）などが主なものです。
※ 新型コロナウイルス感染症対策事業の詳細は、8ページをご覧ください。

質疑内容

層雲峡温泉特別プラン事業

Q（籠味議員）事業はいつぐらいから始められるのか。

A（産業経済課長）層雲峡観光協会が事業主体となって実施していく、協会と協議し、9月又は閑散期の10月の利用と考えている。

Q（籠味議員）「どうみん割との併用は可能なのか。

A（産業経済課長）宿泊者への商品券のプレゼントで、宿泊の割引ではない、併用は可能。

経営継続支援事業の拡大分

Q（湯川議員）事業拡大の理由は。

A（町長）最大のダメージを受けている観光業を中心とした内容だったが、全員協議会で濱田議員の意見を受け、市街地の事業者への支援も拡大した。

「層雲峡水瀑まつり」に対する支援

Q (湯川議員) 「層雲峡水瀑まつり」に対する特別な支援をお願いしたい。

A (町長) 今後の状況を見極めながら、開催について判断をしていかなければならない。支援については、業界や実行委員会とも協議をさせていただいた結果と思うので、現状で「上乗せをします」という答弁は差し控えたい。

マイカー規制に係る感染者予防対策事業

Q (溝口議員) 密を避けるための経費なのか。

A (産業経済課長) シャトルバス車内の除菌対策等や定員の制限に係る運行増に対する経費の支援である。

◎令和2年度公共下水道事業特別会計(第1号)

・歳入歳出それぞれに1,078万6千円を追加し、予算総額を3億1,938万円とするものです。主な補正予算の内容は、新光町移住定住促進地区污水管布設工事(756万3千円)などです。

◎令和2年度簡易水道事業会計補正予算(第1号)

・資本的収入において、水道事業債を720万円追加し、総額を3億8,181万1千円に、資本的支出において、建設改良費を728万5千円追加し、総額を4億1,436万4千円とするものです。補正予算の内容は、移住・定住促進団地配水管新設工事です。

7月臨時会(臨時4)

7月29日に開会。契約の締結1件を審議し、同日閉会。



可決議案等

■契約

◎移住・定住促進団地道路改良工事請負契約の締結について

・新光町、移住・定住促進団地内の町道新光南8条線の新設と新光公住1号線の改良舗装に係る工事請負契約で、契約金額5,324万円、旭信建設(株)を相手方とする契約です。

9月定例会

9月16日に開会し、会期は18日まで。令和元年度一般会計ほか全8会計の決算認定、条例の一部改正3件、財産の取得1件、令和2年度一般会計ほか全4会計の補正予算、人事案件など計40件を審議し、17日閉会。

付託議案

■付託

◎令和元年度一般会計ほか全8会計の決算認定について

・決算審査特別委員会に付託



可決議案等

■財産の取得

◎財産(上川小中学校学習者用コンピュータ)の取得について

・上川小中学校に1人1台の学習用タブレットを整備する事業で、契約金額2,223万円、東日本電信電話(株)を相手方とする契約です。

質疑内容

学習用タブレット整備事業

Q (籠味議員) 179台のタブレットは、どこの製品なのか。

A (教育委員会次長) WindowsのOSを使う製品である。

■条例の改正

◎上川町医療職員養成に伴う修学資金貸付条例の一部を改正する条例について

- ・条例の内容が現状にそぐわない箇所があるため、見直すもので、主な改正点は、保健師、看護師の貸付期間を4年制大学に合わせ、連帯保証人の人数を1名とし、特別措置貸付資金についても、町職員として勤務したときは、返還責務を免除するものです。

◎上川町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例について

- ・居宅介護支援事業所において、主任介護支援専門員の確保が著しく困難な場合については、介護支援専門員を管理者とすることができることにするものです。

◎上川町立介護老人保健施設設置条例の一部を改正する条例について

- ・介護老人保健施設つつじ苑の入所定員を29名から10名に改正するものです。



老人保健施設つつじ苑

■補正予算

◎令和2年度一般会計補正予算（第5号）

- ・歳入歳出それぞれに778万3千円を追加し、予算総額を63億4,404万4千円とするものです。主な補正予算の内容は、避難所用段ボール間仕切りの購入（115万5千円）、マイナンバー導入のための戸籍システム改修委託料（149万6千円）、農業次世代人材投資事業（304万1千円）、産業振興補助事業補助金（55万2千円）、新型コロナウイルス感染予防対策の学校用物品の購入（400万円）などです。



質疑内容

教育総務費の備品購入費

Q（籠味議員）サーモグラフィカメラ（400万円）とは、どんな動作をするものなのか。

A（教育委員会次長）学校の玄関に設置し、子供が通ったときの体温を測れるような機械を予定している。その他、加湿器と扇風機を購入する予定である。

Q（籠味議員）体温が高ければ、登校禁止という処置になるのか。

A（教育委員会次長）37度以上の場合、子供の様子を見ながら、帰るといような措置も考えている。

Q（籠味議員）学童保育が必要な子供の場合は、学童で預かることはしないのか。

A（教育委員会次長）学童保育センターは午前中開設していないので、状況により、保護者とも連絡を取りながら、連れて帰っていただくなどの対応をとることを考えている。

新型コロナウイルス感染緊急包括支援事業補助金

Q（笠間議員）保育所に消毒液を設置するということであるが、保育所だけなのか。

A（保健福祉課長）保育所の他、母子訪問事業や学童保育センターのアルコール等の感染予防対策経費をみている。

Q（笠間議員）幼稚園などへの設置の考えはないのか。

A（保健福祉課長）今回の交付金の対象事業が厚生労働省管轄の児童福祉関係であるが、幼稚園などについては、今後の検討課題として考えていきたい。

避難所間仕切り段ボールベッドの購入

Q（濱田議員）これで段ボールベッド、マスクと間仕切りの3点の備蓄は揃うのか。

A（情報防災室長）今回100セット購入し、全部で120セットなるので一応充足することになる。

Q（濱田議員）防災グッズなどの備蓄は、1か所に行っているのか。

A（情報防災室長）現在、備蓄品は、役場の倉庫に1か所で保管、今回の段ボールベッド購入により、分散しないと保管できなくなるため、分散保管を検討している。

◎令和2年度国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）

・歳入歳出それぞれに259万5千円を追加し、予算総額を5億2,583万4千円とするものです。主な補正予算の内容は、療養費見込額の増（140万円）、会計年度任用職員報酬等の予算組替（116万8千円）などです。

◎令和2年度上川町後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第1号）

・歳入歳出それぞれに56万4千円を減額し、予算総額を7,342万5千円とするものです。補正予算の内容は、令和元年度決算確定に伴い、後期高齢者医療広域連合納付金（△66万2千円）、と一般会計繰出金（9万8千円）の補正です。

◎令和2年度上川町介護保険事業特別会計補正予算（第2号）

・歳入歳出それぞれに367万2千円を追加し、予算総額を4億6,840万1千円とするものです。主な補正予算の内容は、令和元年度決算確定に伴い、国や道への返還金（128万2千円）、と一般会計繰出金（239万円）などの補正です。

■規約の変更

◎北海道町村議会議員公務災害補償等組合格約、北海道市町村総合事務組合格約、北海道市町村職員退職手当組合格約の一部変更について

・上川町が構成団体となっている各規約の構成団体のうち「山越郡衛生処理組合」、「奈井江、浦臼町学校給食組合」、「札幌広域圏組合」の3団体が脱退したことに伴い変更するものです。

■決算認定

◎湯川決算審査特別委員長から令和元年度各会計決算について、原案のどおり認定すべきものとの報告があり、令和元年度各会計決算を委員長報告のとおり認定するものです。

※ 決算審査特別委員会の審査内容の詳細は、9ページをご覧ください。



決算審査特別委員会

■任命同意

◎上川町教育委員会委員の任命について

・9月30日で任期満了となった「辻拓」さんに代わり、新たに「谷越一仁」さんを委員に任命することに対し、同意するものです。

■設置及び委員の選任

◎上川町議会活性化特別委員会の設置及び委員の選任について

・議会の活性化を図るための調査研究のため「上川町議会活性化特別委員会の設置及び委員の選任」を行うものです。

■議員派遣

◎10月9日に鷹栖町で開催される「上川管内町村議会議員研修会」への参加を、議会の議決による議員派遣とするものです。

新型コロナウイルス感染症対策事業で 1億8,689万3千円を追加補正

7月3日開催の第3回臨時町議会で、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した各種事業を実施する補正予算を議決しました。主な内容は次のとおりです。

項 目	補正金額
Web会議及びオンラインイベント配信システム構築業務委託料	820万円
ふるさと納税体験型返礼品開発事業	600万円
いきがい活動ふるさと味わい事業（老人クラブなどが層雲峡のホテルを利用する場合に1人6千円を助成）	240万円
かみかわっ子ふるさとフィーリング事業（高校生以下の子ども及び妊婦にかみかわ育みチケット交付（8千円分）ほか）	308万円
経営継続支援給付金事業（小売業、サービス業を対象に従業員数に応じた支援金の拡充）	1,400万円
家賃支援給付金事業（国の家賃支援給付金の上乗せ）	300万円
旅館業事業者支援事業（旅館務、ホテルの客室数に応じ1室2万円を支給）	2,700万円
新型コロナウイルス感染症対策給付金（各事業者に一律20万円を給付）	2,000万円
層雲峡温泉特別プラン事業（宿泊客に1人2千円の商品券を贈呈）	4,100万円
層雲峡温泉広告宣伝事業（テレビCM、新聞等の広告宣伝）	3,000万円
紅葉期マイカー規制感染予防対策事業（バス運行に伴う感染予防対策）	500万円
公立学校情報機器整備事業（オンライン授業のため情報機器等の購入など）	2,332万3千円
その他公共交通事業者必需物品支給事業（110万円）など	389万円
計	1億8,689万3千円

上川町議会活性化特別委員会を設置

9月17日の第7回定例町議会で、上川町議会活性化特別委員会を設置しました。よりわかりやすく開かれた議会、住民の声を行政に生かせるように、議会の改革・活性化への取り組みを進めていきます。

議会傍聴アンケート結果報告

定例町議会（9月16日）に傍聴があり、アンケート回答をいただきましたので、下記のとおり報告いたします。

今後も寄せられたご意見等を参考に改善に努めてまいります。
傍聴・ご意見ありがとうございました。



○良かった点

・ガーデンやヌクモの動員目標、動員実績について聞く機会を得られたことは良かった。

○その他気のついた点

・事務調査報告で1号、2号は省略されたのに、3～5号が省略でなかった理由がよくわからない。→（報告1号と2号は、毎年実施している各課等における今年度の主要事業の説明を受ける事務調査で、慣例として、報告を省略する扱いとしています。）

○議会・議会広報に対する意見等

・町内に周知するチラシの配布をもう少しゆとりを持って配布した方が良いと思う。→（議会運営委員会でチラシの配布時期等について、多くの方に傍聴いただけるよう検討します。）
・傍聴に対するハードルを下げる必要があると思った。
・もっと多くの町民の方に傍聴してもらいたい。

決 算 審 査

令和元年度一般会計ほか8会計の決算を認定

決算審査特別委員会では、9月16日開催の定例町議会で付託を受けた令和元年度各会計決算について、16日と17日に審査を行い、全会計の認定をしました。特別委員会の審議内容をお知らせします。

決算審査特別委員会 総括質疑

(決算審査において行われた質疑のうち総括質疑の一部を紹介します)

	質 疑	答 弁
国等の補助金の考え方について	国の補助金に対する考え方を聞きたい。厳しい財政運営が続く中、これからも補助金を使わなければならないが、町の魅力は、人だと思ふ。人を育てる補助メニューを使って、町長が目指す「町の魅力を高める」ことを目指していくのがいいと思うが、補助金に対する考え方と補助メニューの選び方について、どのように考えているか。(籠味委員)	財政状況は厳しいから、国の補助メニューを有効に使うことは、今後も考えていかなければならない。事前の準備が大事である。我が町は地方創生交付金を上手く使っていると、管内的に評価されている。国の予算のつけ方や制度設計において、乱暴なやり方で、厳しいものがある。国や道に対しても、もっと有効なやり方については、声を出し、求めていく。(佐藤町長)
	人を育てることが大事だと思うので、それにそぐわないメニューはやらないとかの線引きを。補助事業に乗ることが将来的にいいのか、財政負担を残さないのかという観点に立ちながら、準備をしていくことが、今後の財政運営を効率的にやっていくってことにつながると思う。(籠味委員)	人づくりは、重要なテーマでやっていかなければならないが、限定して線引きすることは難しい。状況に応じた有効策について、やっていかなければならない。各事業については、精査し、議論をして、やってきている。状況や時代の変化とともに、今までない事業を選択しながら進めなければならない事情についても、お互いに共有をする必要ある。ご理解いただきたい。(佐藤町長)
	「町の魅力を高める」事業を選んでいるかもしれないが、当初の目的と現状の分析をすることで、どういう補助金を使っていくのか、選択の範囲も広がり、正しい選択ができると思う。だから、補助事業を分析し続けていくことも、今後の補助金を選ぶためには、必要だと思う。(籠味委員)	何かに特化するということは、難しい。いかに町の魅力をつけるのか、外からも関心を持たれるまちづくりを進められるかである。今も十分だとは思わない。1つやって、魅力が高まるという状況ではない。支援策、施設整備や人を育てることも含めて、今後もやっていかなければならない。一緒に、このまちづくりをやっていきたい。(佐藤町長)
奨学金について	奨学金等の貸付金関係で、滞納について聞きたい。滞納額800万円に対して17万円の償還、償還率が2%である。滞納総額が約780万円となっている。滞納が長年にわたっていて、居住が分からないこともあると思うが、調査し、解決した方がいい。奨学金の関係は、町長の任期中に、対応していただきたい。(遠藤委員)	毎年、監査委員からも指摘を受けている。解決につながる現状について、お詫びをしなければならないが、借受者の現状も理解できるので、どこかの時点で整理することも必要である。整理をする場合は、慎重に、議会の理解も得なければならない。簡単ではないが、進めていきたい。奨学金制度は、幅広い機関で多くの制度が設けられてきている。自治体の役割も議論してみる必要がある。このことを含めて今後改正できるものはしていく。(佐藤町長)

決算審査特別委員会

委員長報告(抜粋)

委員長 湯川 秀一

令和元年度は、国の地方創生推進交付金などを活用した地域振興に配慮した事業が多岐にわたり展開され、それらの事業内容についての説明を受けた。

委員からは、町有林管理事業や町史等の在庫整理についての意見等が出された。

健全化判断比率及び資金不足比率については、全会計ともに健全な数値となっているが、年々、実質公債比率、将来負担比率が上昇している。持続可能な自治体運営を確立するために、歳入・歳出の見直しを行い、健全財政の維持に、努めていただきたい。

後年度の行政執行及び予算編成に当たり、住民福祉の向上、産業の振興、教育・文化・スポーツの振興等の各分野において更なる発展また、健全財政のもとで各種事業を継続的に推進していくことを期待して、令和元年度各会計決算を認定することに決定した。

委員会の動き

総務文教常任委員会

◎事務調査

▽7月29日

○財政勉強会（地方交付税、地方債、基金について）

◎所管事務調査

▽9月2日

○上川町まち・ひと・しごと創生総合戦略について

《主な調査内容》

総合戦略評価委員会の結果を踏まえた平成27年年度から令和元年度の5年間の検証・評価の説明を受けた。

○道立上川高校の現状について

《主な調査内容》

町と教育委員会から、上川高校の沿革概要及び連携型中高一貫教育施行から生徒の実態等現状の説明を受けた。

◎意見書審査

▽9月9日

○所管事務に関する意見書の審査について

産業福祉常任委員会

◎所管事務調査

▽7月21日

○旭ヶ丘地区活性化事業について

《主な調査内容》

大雪森のガーデンの令和元年度事業報告・決算及び令和2年度事業計画・予算について説明を受けた。

○起業促進及び誘客交流施設事業について

《主な調査内容》

大雪かみかわヌクモの令和元年度事業報告・決算及び令和2年度事業計画・予算について説明を受けた。

○観光地づくり対策事業について

《主な調査内容》

DMO大雪山ツアーズの令和元年度収支決算及び令和2年度収支予算を中心に説明を受けた。

○青少年旅行村の通年営業に伴う

事業計画収支見込みについて

《主な調査内容》

青少年旅行村の通年営業に係る収支試算内容の説明を受けた。

▽9月4日

○地方創生推進交付金事業について

《主な調査内容》

令和元年度の交付金事業及び平成30年度拠点整備事業のKPI（重要業績指標）を中心に事業実施結果の説明を受けた。

○介護老人保健施設「つつじ苑」の現状と見直しの方向性について

《主な調査内容》

つつじ苑の利用状況、財政状況及び介護医療院への移行見直しの検討状況などの説明を受けた。

○令和2年産農作物の生育状況について

《主な調査内容》

水稲及び畑作の生育状況の説明を受け、現地視察調査を行った

◎意見書審査

▽9月9日

・所管事務に関する意見書の審査について



◎作況調査

議会運営委員会

▽7月3日

・第5回上川町議会臨時会（臨時3）の運営について

▽7月29日

・第6回上川町議会臨時会（臨時4）の運営について

▽9月11日

・第7回上川町議会定例会（定例3）の運営について

議会広報特別委員会

▽9月25日・10月16日

・第179号の編集及び校正について

▽7月3日

○7月3日開催の議会運営委員会の報告

○新型コロナウイルス感染予防対策に向けた町議会の対応について

▽7月29日

○小函遊歩道現地調査

▽9月9日

○上川町議会活性化特別委員会の設置及び委員の選任について

○令和元年度各会計決算審査勉強会



7/29

全員協議会で 小函遊歩道の現地調査を実施！

小函遊歩道は、平成7年10月の「銀河トンネル」開通に伴い、平成8年4月に、トンネル開通により廃止された旧国道が町に移管され、町が管理してきました。昭和62年6月に3名が死亡、6名が重軽傷を負う天城岩崩落災害があり、落石調査や監視体制を行う中で通行をしてきましたが、岩盤崩落・落石調査の結果を受け、平成16年の春から全区間通行止めとなっています。しかし、この遊歩道には、天城岩、神削壁や錦糸の滝などがあり、層雲峡でも有数の観光資源であることから、観光関係者などから開通に向けた強い要望があります。議会として現状把握のため、現地調査を実施しました。今後も引き続き、安全な通行が確保できるか、調査を続けていきます。

意見書を提出しました

◆林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書

【提出先】衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣ほか

◆国土強靱化に資する道路の整備等に関する意見書

【提出先】衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣ほか

◆新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書

【提出先】衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣ほか

◆2021年度 地方財政の充実・強化を求める意見書

【提出先】内閣総理大臣、内閣官房長官、総務大臣、財務大臣、経済産業大臣ほか

◆「子どもの貧困」解消など教育予算確保・拡充と就学保障、義務教育費国庫負担制度堅持・負担率 1/2 への復元、教職員の超勤・多忙化解消・「30人以下学級」の実現に向けた意見書

【提出先】内閣総理大臣、衆議院議長、参議院議長、総務大臣、財務大臣ほか

◆被災者生活再建支援法の改正を求める意見書

【提出先】衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、厚生労働大臣ほか

◆軽油引取税の課税免除特例措置の継続を求める意見書

【提出先】衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣ほか

議会広報では、上川町で活躍をしているグループや人たちの活動や声を紹介していきます。

今回は、「二代目鉄人 たかはし」を開店した高橋圭介さんに話を聞きました。

まちのこえ



中央町の「ラーメン鉄人しばやま」の店舗と味を受け継ぎ9月に店をオープンさせた。

高橋さんは、昨年6月から今年8月まで、地域おこし協力隊として、町内の飲食店での修行や期間限定の居酒屋運営にも携わってきた。そのことで「町内の人といろんな繋がりができた。その人たちがラーメンを食べに来てくれ、励みになる」と、振り返る。



上川町の起業を支援する制度も活用した。協力隊出身者として初の起業ということで「失敗できないという思いもあるが、やってやるぞという気持ちが後押しをしてくれる」。

旭川市内の有名デパートにあった中華料理店に勤めていた経験がある。「今後は、麻婆豆腐や回鍋肉（ホイコーロー）など、中華のコースも取り入れるなどメニューを増やし、宴会も受け入れていきたい」と語る。

将来は「イベントへの出展や他の地域にも出店をして、上川町の味を広めていきたい」と、夢を膨らませる二代目鉄人の挑戦がスタートした。

表紙のコメント

インターネットを通して上川町の魅力を伝える「カミカワオンラインフェス」が9月6日、行われた。地域おこし協力隊やカミレンジャーのメンバーたちが、三つの番組をそれぞれ生中継で配信した。音楽演奏、メンバーの活動内容、特産品や飲食店の魅力など、さまざまな内容で番組が構成された。企画の中心になった地域おこし協力隊の絹張龍平さんは「想像より多くの方に届いた。町の人たちが楽しく配信してくれ、協力隊のメンバーもできることを全力でやり切ってくれたのがうれしかった」と感想を述べていた。

また、番組を見た人から「安易に外の力に頼らず、地元のことは地元でやろうという気概を感じた」などとエールをもらったという。終了前に出演した町長が「この人たち（地域おこし協力隊）がいれば上川町は大丈夫。感動した」と言ってくれたことに「涙があふれるほど、うれしかった」とも、絹張さんは話していた。

今後の展開について、絹張さんは「今回の経験や知識、思いを次につなげたい。町をPRする動画チャンネルを開設し、町民の方々と番組を制作し、定期的に発信していきたい」、「協力隊はアイデアをまとめ、サポートをしていきたい。地域の魅力は『人』。上川町の素敵な人の顔が見える情報発信を続けていきたい」と、抱負を語っていた。

令和2年度に発行する議会広報「凧」では、町内での行事を表紙のテーマに取り上げていきます。



議会広報は、
上川町ホームページでもご覧いただけます。

議会・議会広報 に対して

みなさまのご意見をお寄せください。

※広報委員（籠味、笠間、久米、昔農、宮本）

または、議会事務局へ 電話（01658）2-4064（直通）

【ホームページアドレス】

<https://www.town.hokkaido-kamikawa.lg.jp>

次回の定例議会は
12月中旬の予定
です。チラシでお
知らせします。

